

日本建築学会調査団として台湾南部地震の災害調査を行いました（2016/2/20-24）

テーマ：2016年2月台湾南部地震

場所：台湾台南市

2016年2月6日に発生した台湾南部・高雄市美濃区周辺を震源とする M6.4 の地震に関する日本建築学会災害調査団（団長：勅使川原正臣名古屋大学教授）の一員として、当研究所 災害リスク研究部門・地域地震災害研究分野の大野 晋 准教授が災害調査を実施しました。

調査日程は2016年2月20日(土)～24日(水)で、調査場所は台南市です。主な調査内容は、震動被害建物の調査、強震観測点周辺の被害状況の調査、液状化被害の調査です。調査結果は3/9に予定されている日本建築学会災害調査報告会で報告されます。

<http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2016/taiwan2016.pdf>



震動被害で傾いた高層建物



液状化地区で傾いた低層建物



校舎の被害